

Q9 今回の地震、停電により対応に苦労したことと、その解決方法(企業)

	問 題	解決方法
(14)	1 危機管理 2 従業員との連絡	社内危機管理委員会を改めて設置
(1) (14)	1 復旧、通電の時期等すべてに関して情報が少なかったこと 2 北電との連絡網はあったが機能しなかったこと 3 電力小売業者の災害時の価格変更(改定)のあり方が見えない事	
(1)	業務遅延、復旧日時がわからない、物流	土日稼働。復旧時間に関しては、いろいろ情報を取っていましたが、解決方法はなかったです。物流は、復旧後、業者との密な情報交換を行った。
(1) (8) (14)	○電話が繋がらない。(固定、携帯両方)暑さ。 会社が少し道路から奥に入った所にあるので、広報車が走っていたことさえ知らない。全く聞こえなかったようです。とにかく西芦別じたいが、店がない、明かりがない、人が少なく情報も入らず、何もできない状態でした。 水が止まるという話が出たので、溜めたが止まらなかった・・・	電話については、車のシガーから電源をとり、1本のみ何とか使うことができた。暑さ→ドア全開
(14)	1 停電による工場操業停止(休業) 2 停電に伴う携帯電話、スマートホンの充電不能 3 携帯電話・スマートホン不通に伴う通信不能、情報収集不能	1、2 解決方法なし 3 唯一通話ができたNTTドコモの携帯電話・スマートホンを使用して通信、情報収集

	問 題	解決方法
(14)	<p>今回、地震の際は事務所にて作業しておらず、停電による業務停止を経験していなかった。</p> <p>停電及び復旧は、携帯電話にて近隣企業等より情報を得た。</p> <p>復旧後、建物、設備等の異常は見られず、通常業務に戻っている。</p>	<p>今後、業務停止に備え、PC用モバイルバッテリー、UPSなど必要に応じて備える予定。</p>
(14)	<p>溶解で販売不能商品の処分、ごみの分別等の作業が多く発生し、人件費、処理費用の増加等、経営上の負担になってます。</p>	
(1)	<p>すぐ必要な食品類が入ってこなかった。</p>	
(14)		
(1)	<p>夜が明ければ、停電は復旧するだろうと思っていました。ですが、夜が明けても回復せず、一体何がおきたのか、全く情報がないので不安でした。</p> <p>東京の友人が、一生懸命ニュースをメールで教えてくれて助かりました。</p> <p>芦別市役所皆様もたいへんだったと思います。</p> <p>広報車も出ていたようですが、進行しながらは聞きづらい、小さく遠くから何を言っているのか？と思いました。少し5分くらい停車して、伝えると伝わりやすかったのでは？と思います。</p> <p>今後は、ブラックアウトがおきてはならないと思います。北海道全体が大変なことになったと、今回の経験で学んだことも多かったと思います。</p> <p>芦別の安全のために、これからもよろしくお願いします。</p>	<p>当店は、午後2:00すぎに電気が回復いたしましたので、お客様や知人にケイタイの充電を共有いたしました。</p> <p>市内でも、時間差があり、8日までかかった地域もあります。やはり、情報の不足は、市内各所で耳にしました。経験から、今後学び、共に助けあっていきたいと感じます。人と人のつながりや協力は大切なことですね。</p>
(8)		

	問 題	解決方法
(8) (14)	レジ入力ができなかった 断水なしの広報車アナウンス後、タンク及びペットボトル水求め来店	発電機、バッテリー容量のアップ 町内会の広報・連絡網活用し案内など
(1) (4)	情報を得るためのラジオの電源がなく困った。店の電池は売り切れでした。	車のラジオを定期的に聞いていた。
(8)	1 不確かな情報による混乱 地震発生日、弊社の就業時刻前より(7:00頃)、水道断水の問い合わせがあり、その他にも9時頃、配水管敷設替の現場において複数の付近住民より、断水の問い合わせが相次いだ。	1 不確かな情報による混乱 ・弊社の対応 6:30頃に水道課施設係職員に浄水場の状況と、下水道マンホールポンプ施設の対応を確認、職員に伝達し、電話及び現場での対応を図った。 ・市への要望 今回の停電により、市防災機能強化の必要性が浮き彫りになったが、特に情報の錯綜による混乱が多くあったようだ。 不確かな情報を訂正するのではなく、信頼できる自治体自らの情報を、ホームページやSNSを通じ、常に更新し続け、それを利用者に拡散してもらいながら、情報弱者へのケアを行うべきだ。

	問 題	解決方法
(14)	<p>2 停電の長期化への対応 弊社を含む上芦別町の多くは、9月6日午後には通電再開されたが、一部地域では翌7日朝にも停電が続いていた。</p>	<p>2 携帯電話充電スポットの開設や冬季対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弊社の対応 弊社においては、地震当日の14:00には通電が再開され、通常通りの業務を行うことができたが、過去の停電時の経験から三菱地区は配電系統が特殊な場所で、弊社がある場所は草笛にありながら元町以南の系統と同一であり、周辺草笛・かりがね・あかね・あかしゃとは復旧時間に差が出ることを知っていたので、7日早朝より付近住民の為の充電スポットを開設。夜間になっても解消されなかったため、翌朝まで行った。特に広報はしなかったが、日中には、常に2~6人程度の利用者があり、延べで20~30人の利用があった。 それとは別に、冬季対策として電池式の小型暖房機を二台購入し、冬季間における停電にも対応できる備えをした。 ・市への要望 特に停電に特化した対応としてではなく、地震や大雨、多雪による被害を想定した対策を取ってほしい。 具体的には、市内多目的センターごとに担当職員をきめておき、有事の際には、小型発電機とともに駆けつけることに決めておけば、冬季の災害においても暖房を確保することが出来、携帯電話の充電にも対応できる。 更には、日頃から安否確認の必要な方のリストを作成しておけば、広報車とは別に、個別の情報提供がいち早くでき、周知の遅れも解消できると考える。
(4)		簡易の発電機使用、時間が短かったのでは何とかなったが、長い時間だと？
(8)	水道が止まるかも知れない。という話や、停電が治るまで1週間くらいかかるというウワサ話だけが広がり、本当のことがわからないまま数日たっていました。	正しい情報がわかりしだい、広報車や放送などで連絡してほしいです。
(14)	レジが使用できず、紙に手書きで売り上げの記録を残した。	複数税率対応のレジにかえる予定で、バッテリー内臓(交換可能)のレジを検討しています。